

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	佐賀大学				
プログラム名	二枚貝が育つことを科学的に考える：生態系における働きと昨今の環境問題				
先生(代表者)	折田 亮(おりた りょう)・農学部・准教授				
自己紹介	専門は海洋生態学。大学生の時に有明海の魅力に触れ、以来 15 年に渡り有明海の海底に暮らす生き物やその生息環境の調査・研究に取り組んでいます。近年は、二枚貝類を対象とした研究に注力しています。				
開催日・募集対象	2026年 10月 3日(土)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	16名
集合場所・時間	佐賀大学 農学部 1号館 第5講義室	(集合時間)	9:30～10:00		
開催会場	佐賀大学 農学部(本庄キャンパス) 住所: 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地 アクセスマップ URL: https://www.saga-u.ac.jp/access/				
内 容					
<p>有明海の生き物という「ムツゴロウ」が有名ですが、実はムツゴロウと同様に国内でも有明海周辺にしか生息していない珍しい二枚貝が数多く存在します。また、有明海佐賀県海域では、漁獲量の約 9 割が魚ではなく、『二枚貝』という独特な漁業により地域の水産が支えられてきた経緯もあり、二枚貝は水産学的にも非常に重要な生物と言えます。本プログラムでは、佐賀の地元にはどのような二枚貝がいて、二枚貝がいることが何故重要なのか、我々が二枚貝を食べることによどのような意味があるのかを以下の 4 つの取り組みを通して学びます。</p> <p>第一の“知る”：地元の生物多様性の豊かさを学ぶ</p> <p>貝殻の縁をスキーのように使って泥上を動きまわる二枚貝や、赤い血(ヘモグロビンを内包した赤血球)を持つ二枚貝、深さ 1 m 以上の穴を掘る二枚貝など、とても珍しい生態を持った二枚貝が存在すること、更に、これらの二枚貝は国内では有明海周辺にしか生息していない貴重な生き物であることを講義と実物の観察を通して知ってもらう。</p> <p>第二の“知る”：二枚貝類の生態系機能を学ぶ</p> <p>生物攪乱のインパクト(泥に穴を掘り酸化的環境を拡大してくれる事の重要性)や、濾過摂食の重要性を知ってもらう講義を実施し、実際に濾過量を調べる実験を行う。</p> <p>第三の“知る”：味覚の発見と漁獲して食べることを学ぶ</p> <p>かつて地元では二枚貝が食卓に並ぶ日常風景があったが、今ではソウルフードと呼べる世代も減り、そもそも味を知らない世代となりつつある。災害時の貴重なタンパク源として缶詰にも加工できることの重要性や、何よりもどんな味がする食材なのかを実際に食すことで知ってもらう。また、物質循環の観点から最終的にヒトが海域から取り上げることの重要さを学ぶ。</p>					

第四の“知る”：二枚貝に忍び寄る環境問題を学ぶ[科研で研究する意義を知る]

豊穰の海として知られた有明海では、サルボウガイだけでも年間 1 万 5 千トン以上もの漁獲があった。これらの漁獲量が減り、現在も減り続ける要因として、海が貧酸素化したり、低塩分化したりする環境変化の影響が挙げられる。これらの環境変化が二枚貝の生理や生態系機能にどう作用するのかを学び、これらの課題を研究する意義を紹介する。

持ち物	特記事項
・筆記用具 ・昼食 ・飲み物	・実験は観察がメインで解剖等はいりません。 ・二枚貝の実食については、希望者が対象です(必ずしも参加する必要はありません)。また、アレルギーのある方は事前にお知らせください。 ・感染症の状況により、スケジュールや日程の変更、または中止せざるを得ない場合もあります。その際は、別途参加者に連絡します。

スケジュール

9:30～10:00 受付(集合場所:佐賀大学 農学部 1 号館 2 階 第 5 講義室)
10:00～10:20 開校式(プログラムの紹介、実施者の紹介、科研費の説明)
10:20～10:50 講義①「有明海の二枚貝と二枚貝の生態系における働き」
10:50～11:10 実験①「有明海の二枚貝類の観察」
11:20～11:55 実験②「濾過量測定実験(開始作業)」
12:00～13:00 昼食、二枚貝の実食(希望者を対象に加熱調理した貝を提供)
13:00～13:20 休憩(大学生・大学院生との懇談時間も設ける予定です)
13:30～13:50 講義②「有明海の二枚貝に忍び寄る環境問題」
14:00～14:30 実験②「濾過量測定実験(終了作業)」
14:30～15:10 実験③「珪藻減少量の計測・濾過量の算出」
15:10～15:20 休憩
15:20～16:00 講義③「実験結果のまとめ・ディスカッション・科研課題の意義解説」
16:10～16:30 未来博士号授与式・アンケート回答
16:30 終了・解散

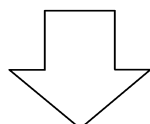
課題番号	26HT0139	分野	生物・農学	キーワード	有明海、二枚貝
------	----------	----	-------	-------	---------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	佐賀大学農学部・折田亮
住所	佐賀県佐賀市本庄町1 佐賀大学農学部
TEL番号	0952-28-8763
E-mail	ss7427@cc.saga-u.ac.jp
申込締切日	2026年9月3日(木)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2024年度 ~ 2026年度	基盤研究(C)(一般)	24K15260	海の貧酸素化と低塩分化の同時発生が底生動物の生残に及ぼす影響：共在菌を介した影響



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000080800143>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。